

◎栄養部門

1 行事および内容

(1) 研究委員会

- ア 第1回 令和5年5月12日(金) 14:00~16:30 (天草教育会館)
今年度の取組について
- イ 第2回 令和5年8月22日(火) 11:30~12:00 (今津小学校)
年間反省・まとめ

(2) 研修会

- ア 内容 令和5年8月7日(月) 上天草市立上小学校
研究テーマ 『「評価の視点」をもとにした食育の実践』
参加者 栄養教諭・学校栄養職員 17名 校長 1名

イ 研究協議

テーマ1 食育カルテの作成と検討

これまで実践してきた食に関する指導の略案等をもとに、食育カルテの作成を行った。

各教科等または給食時間における「食に関する指導」の記録を作成することで、指導のねらいや学校給食の関連づけ、評価まで見直すことができた。

作成後は発表を行い、指導のねらい等の設定について、また評価の在り方、事後指導等についてお互いの実践に対して意見交換を行った。



テーマ2 教科等における栄養教諭の関わり方について

講義 「評価の視点」を大切にした食育の実践について

講師 熊本市立託麻原小学校 栄養教諭 中河原 晶 先生

教科等における食に関する指導について講話いただいた。実態の把握やめあての設定、評価など改めて勉強することができた。また多くの栄養教諭等が、「望ましい食習慣の形成」のために、どのように「自己決定から実践意欲へとつなげる」かを考える機会となった。

参加者からは

- ・子ども達の関心を高める工夫や表現など、参考にしたい。
 - ・授業では「自分が得意なことや好きなこと」を主にしていたが、今は「自分の考えでなく、担任が何をしたいのか、期待されているのか」を中心に授業を考えていきたい。
 - ・子ども達に伝わる表現力を勉強したい。必要性を感じさせるような言葉かけ、保護者への啓発テクニックを真似したい。
 - ・提示された自己実現のやり方を仕事の中にも取り入れたい。
- という感想が聞かれ、今後の実践に向けて学ぶ場となった。

2 反省

今年度の栄養部門の研究テーマは『「評価の視点」をもとにした食育の実践』であった。そこで食育の指導の実践記録となる「食育カルテ」について研修を行った。「食育カルテ」を作成していくうちに、授業に対する目的などが不明確だったこと、評価までの見届けが出来ていなかったことなど、課題が明確になった。その後、意見交換を行うことで練り上げ、作成することができたので、是非、今後にかかしていきたい。また、中河原先生の講義では、たくさん実践をお話いただき、学びを深めることができたので、今後の職務にかかしていきたい。